

## 清流

広報誌タイトルは伊藤博院長みずからのネーミングによるもので、患者さま一人ひとりに対して職員全員が厘川の清き流れの如く澄んだ気持ちでおだやかに思いやりを持ちながら対応させて頂ければと考えております。



# 清流

●伊藤病院だより

## 第4巻1号

平成17年4月15日発行

●発行所●

伊藤病院

〒920-0976

石川県金沢市十三間町98

TEL(076)263-6351(代)

FAX(076)263-2526

●印刷●

高桑美術印刷(株)



日本医療機能評価機構

## 個人情報保護法について

伊藤病院 院長 伊藤 順

平成17年4月1日より個人情報保護法が施行されます。

保護法といっても個人情報保護を直接保護するために特別な権限や権利を与える性格の法律ではなく、個人情報の有効活用とその保護を行うことで、国民の権利利益を保護するものであり、仕組みとしては事業者の個人情報の取り扱いに関する規制を行う法律です。

当院でも厚生労働者のガイドライン、医学関連分野の指針を遵守し、本来の利用目的の範囲を超えて使用いたしませんので御理解のほどよろしく願います。

### 病院の理念

患者さま中心の信頼される質の高い医療を目指します。

地域との連携を大切にし、地域の保健・福祉に貢献致します。



# 花粉症・今年は早めに対策を!!

薬剤師 三浦有紀

## ■なぜ毎年スギ花粉症にかかるのですか

スギ花粉症は、スギ花粉に対して体がアレルギー反応を起こし、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどのつらい症状が現れる病気です。

毎年、スギ花粉が飛散する2月から4月にかけて症状が起こることが予想されます。しかし適切な予防や治療を行えば、症状をやわらげることが可能です。新聞やテレビなどでその年のスギ花粉飛散情報を参考にしながら、早め早めの対応を心がけてください。

スギ花粉症の患者さまにとっても、もっとも重要で、かつ基本的なことは、スギ花粉が鼻や目の粘膜にできるだけ触れないようにすることです。晴天で風の強い日は、スギ花粉の飛散量が増えますので、ふとんを干したり外出をするのは、できれば避けたほうがよいでしょう。出かける場合も、マスクや眼鏡などで、鼻や目をしっかりと防護してください。外出から帰ったら、玄関に入る前に髪や上着をよくはたき、スギ花粉を落としましょう。ふだんよりこまめに掃除をし、花粉が室内にたまらないようにしましょう。

## ■薬を使い始める時期は

もし毎年のようにスギ花粉症に悩んでいるなら、本格的なスギ花粉シーズンが始まる前に、予防手段を講じておくと、症状をいくらかでもやわらげることができます。

予防に使われる薬は、ケミカルメデイエーター遊離抑制薬という種類の薬で、抗アレルギー薬とも呼ばれます。これは、使い始めてすぐには効果を発揮せず、だいたい2週間ほどしてから効き始め、4週間後には効き目が十分に現れます。ですから、スギ花粉が飛散し始める時期の2週間ほど前から薬を使い始め、スギ花粉の飛散が終わる4月下旬ごろまで、2ヶ月ほど使い続けてください。また、症状に合わせて抗ヒスタミン薬（内服薬）や、ステロイド薬（点眼薬、点鼻薬）が、処方されます。症状が治まってもシーズン中は服用を続けることが大切です。薬によっては、眠気を催すことがあるので、車の運転等には十分注意して下さい。

外出する時は  
眼鏡やマスクで  
花粉の付着を  
防ぎましょう。



花粉情報



症状がひどくならない  
ために、早めに治療を  
開始しましょう。  
スギ花粉が飛散する  
半月ほど前から薬を  
使い始めるとよいで  
しょう。

## 職員研修

看護師 本田 祐子

1月17日に受講した「接遇」の講演を受講して、私なりに学んだことをこの機会にまとめてみました。

接遇は人的サービスです。従って、サービスを行う私たち職員の知性、体力、野生(精神的強さ)、目標がよりよい接遇に繋がります。また、患者さまが求めるものは何なのかを理解していないと、よい接遇には繋がりません。接遇における患者さまの期待は、「コミュニケーションと暖かいふれあいによって満足が得られる」ということです。患者さまが不満を持つのは、「待たされた」、「対応が悪い」、「聞いたことと違う」、「約束を守らない」、などといったことであり、私たち職員にとっては耳の痛いことばかりです。では、我々職員は何に気をつけていけばよいかというと、外見を整えること、そして、挨拶です。挨拶は存在認識であるということ。まず、コミュニケーションにおいては、ことばのみに頼らず、相手に視線を合わせ、声の調子に気をつけ、ボディランゲージを使いながら話すといいいのです。また、相手に理解していただけたかを確認することも大切

です。次に自分の言動に責任を持たなくてはなりません。待ち時間については、心理的時間に対してのアプローチを今後考えていかななくてはならないと思っています。満足が得られないときは、原因を考えて、次につなげていくことが大切です。

以上をふまえて、至らない点もあると思いますが、今後より良い医療サービスに努めていきたいと思えます。また、皆様のご意見や、ご要望をいただければありがたく存じます。

## 栄養部 だより

### 春野菜とは？

調理師 小高 久美

春野菜とは、春に旬のある野菜のことで、うど、ふぎ、たけのこ、新キャベツなどがあります。

春野菜は、冬にはなかった日ざしを浴びています。寒さに耐えて蓄えてきた養分がプラスされておいしさにつながります。そして香り。さわやかな香りは春野菜特有のもので、新キャベツは春キャベツとも呼ばれ、甘さと香り、味の三拍子がそろっており、柔らかいので一番外の葉まで食べられます。ビタミンCやカロチンが豊富で胃腸を丈夫にするビタミンUも含まれます。

調理にあたって気をつけることは、収穫後、時間とともに香り、味も落ちるものなのでなるべく新鮮なうちに食べるようにしましょう。ゆでる際は、たつぶりのお湯で手早く。特にビタミンCは水に溶けやすく、熱に弱いのです。お肉や魚とうまく組み合わせると味わいましょう。



## 診察のご案内

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00	伊藤 博 伊藤 順	伊藤 順	石澤友海子	伊藤 順	伊藤 博 伊藤 順	伊藤 透 伊藤 順
	13:00						
午後	14:00	伊藤 順 PM4:00~ 伊藤 透	伊藤 順	藤岡 央	伊藤 順	伊藤 順	
	17:30						

内視鏡検査日：月、火（胃・大腸）  
水、土（胃）

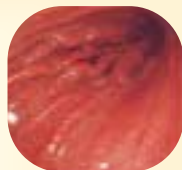
### ■外来診療時間

平日受付 8:00~13:00 14:00~17:30  
土曜日受付 8:00~13:00  
休 診 日 日曜・祝日及び12月31日~1月3日

## メディカルコラム

### — 慢性胃炎とH.P.感染 —

慢性胃炎とは、本来組織学的に胃粘膜に慢性細胞浸潤が見られる病態をいいます。一般的に、自己免疫性のA型胃炎とヘリコバクターピロリ(H.pylori:以下H.P.)感染によるB型胃炎に分類いたしますが、大部分がB型で加齢現象と考えられてきた萎縮性胃炎もH.P.感染が主因であるとされています。アメリカのFDA(日本の厚生労働省にあたる)では、H.P.を胃癌発癌の原因と認定しております。現在健康保険の適応になっておりませんが、除菌治療(抗生剤2種類+プロトンポンプインヒビター、1週間服用、費用は5000円程度)で炎症の改善が認められます。しかし治療が必要であるのは、内視鏡所見を認めた「慢性胃炎の急性増悪」と上腹部不定愁訴を有し潰瘍などの器質的疾患が除外された患者さまの群です。診断には上部消化管内視鏡検査が有用です。



胃粘膜発赤



駐車場 収容台数15台

### 交通のご案内

- 北鉄バス  
片町(金劇パシオン前)下車 徒歩5分  
片町(ラブ前)下車 徒歩10分  
野町・広小路下車 徒歩7分
- 城下まち金沢周遊バス  
十三間町(伊藤病院前)下車
- タクシー  
JR金沢駅より10分

編集委員/伊藤 透 橋本 香織 松本 幸子 坪坂 薫 丸山 康子 川瀬 裕子 本田 祐子

## 伊藤病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒920-0976 金沢市十三間町98

TEL (076) 263-6351(代) FAX (076) 263-2526